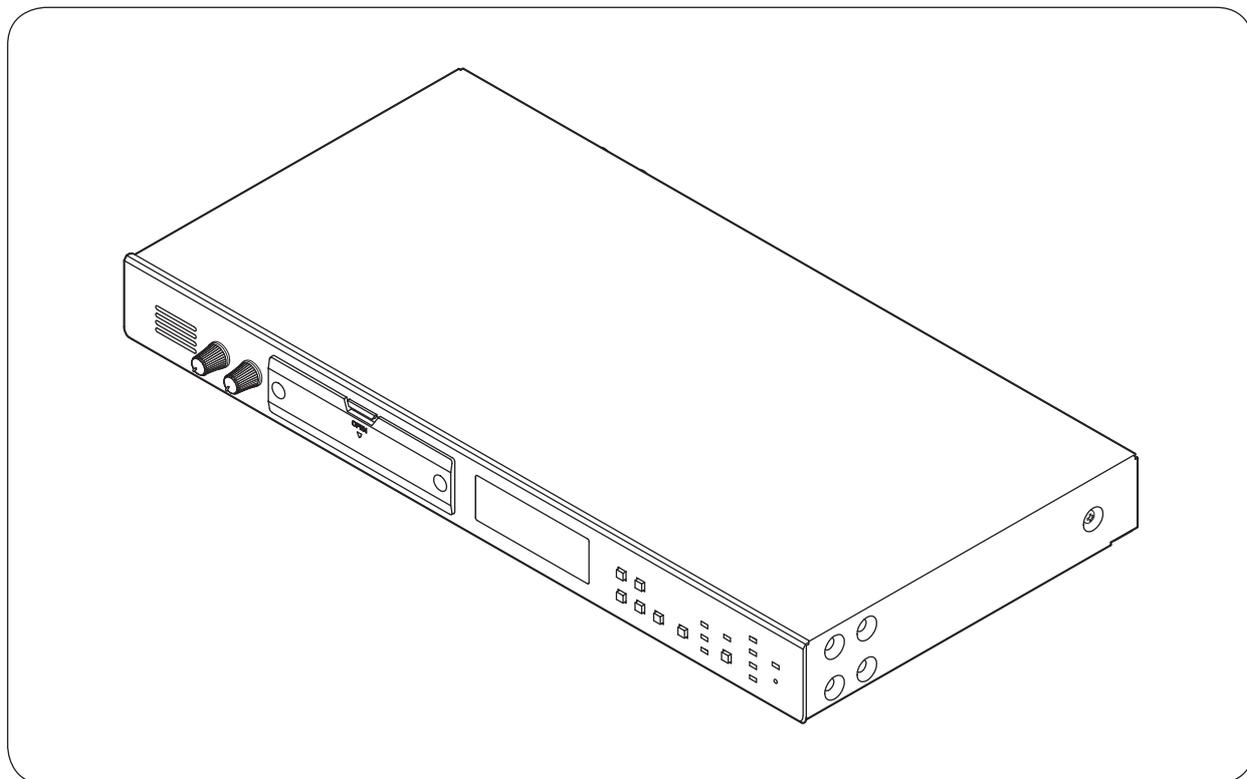




取扱説明書

ネットワーク CM・BGM プレーヤー NA-3000



このたびは、TOA ネットワーク CM・BGM プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	4
概 要	7
特 長	7
使用上のご注意	7
お使いになる方に	8
メモリーカードの取り扱い	9
使用できるメモリーカード	9
メモリーカード取扱上のご注意	9
メモリーカードの取り付け・取り外し	9
各部の名称とはたらき	10
前面	10
後面	11
お使いになる前に	12
運用画面	13
運用画面とは	13
スケジュール情報表示画面	13
コンテンツ情報表示画面	14
通信状況表示画面（通信中のみ）	14
放送内容を更新（サーバーリクエスト）するには	15
サーバーリクエストとは	15
手動でサーバーリクエストをする場合	15
通信を途中で停止する場合	16
放送音量を調節するには	17
ライン出力音量（放送する音量）を調節するとき	17
モニタースピーカーの音量を調節するとき	17
メニュー画面（各種設定と操作）	18
メニュー画面を表示させる	18
メニュー画面で使用するキー	18
音量を設定する（メニュー画面での設定）	19
設定項目	19
設定のしかた	19
本体放送および外部入力放送の設定音量とミックスレベル	21

ダイレクト再生をする (メニュー画面での操作)	23
ダイレクト再生とは	23
ダイレクト再生をする	23
ダイレクト再生を停止するとき	24
スケジュールを変更する (メニュー画面での操作)	24
スケジュールの変更とは	24
スケジュールを変更する	25
スケジュールを通常運用に戻すとき	26
日時設定のしかた (メニュー画面での設定)	27
日時を設定するとき	27
時刻だけを設定するとき	29
動作確認のために時刻設定をするとき	30
エラー確認のしかた (メニュー画面での操作)	31
シャットダウンをする (メニュー画面での操作)	32
シャットダウンとは	32
シャットダウンをする	32
システム停止状態から復帰させるとき	33
接続のしかた	34
電源の接続	34
LAN、モデムの接続	35
外部機器の接続	35
機能アースの接続	36
制御入力端子の接続	36
制御出力端子の接続	37
着脱式ターミナルプラグの接続のしかた	38
設置のしかた	39
ラックマウントのしかた	39
卓上設置のしかた	39
サンプル音源の再生	40
エラーコード	41
故障かな?と思ったら	42
仕 様	43
付属品	43
別売品	43

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

屋外で使用しない

本機は、屋内専用品です。
屋外で使用して雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止

組み合わせは指定のものを使用する

ラックマウント金具は指定のものを使用してください。
指定以外の組み合わせで使用すると、落下して、けがの原因となります。



強制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を止めて販売店にご連絡ください。

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出ている、変なにおいがするとき
 - 内部に水や異物が入ったとき
 - 落としたり、ケースを破損したとき
 - 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
 - 音が出ないとき



強制

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機のメモリーカードスロットなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない（AC アダプター使用時）

雷が鳴り出したら、AC アダプターの電源プラグにはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグをさわらない（AC アダプター使用時）

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない（AC アダプター使用時）

AC アダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは AC アダプターの電源プラグを抜く（AC アダプター使用時）

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。
守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- ラックマウント金具に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。



強制

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

ACアダプターは指定のものを使用する(ACアダプター使用時)

指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

ACアダプターの電源プラグやコンセント部の掃除をする(ACアダプター使用時)

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源ケーブルを本機から抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



強制

本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し、接続してください。

概要

本機は、業務用の CM・BGM プレーヤーです。

あらかじめ設定されたスケジュールに従って CM・BGM データを再生することができます。

また、別途サービス* をご契約いただくことで、インターネット経由でのスケジュールの更新、CM・BGM データの配信などを利用することができます。

* サービスのご契約については最寄りの営業所またはコンテンツパートナーにお問い合わせください。最寄りの営業所、コンテンツパートナーについては、TOA ホームページ (<https://www.toa.co.jp/>) でご確認ください。

※ 以下、CM・BGM データを「コンテンツ」と呼びます。

特長

- インターネットに接続することで、最新のスケジュールやコンテンツをダウンロードします。(ただし、別途サービス契約が必要です。)
- インターネットへの接続は、LAN を使用することで高速通信が可能になります。
また、ファームウェアが Ver.3 より前の場合*¹ は、シリアル (RS-232) 接続の外付けモデム (市販品) を使用して電話回線でインターネットへ接続することもできます。
- コンテンツは不揮発性のメモリーカードに記憶されるので、劣化することなくクリアな音楽を放送できます。
- メモリーカードには、サンプル音源として 10 曲をプリインストールしています。
ダイレクト再生機能により、初期設定なしで使用することができます。(▶ P. 40 「サンプル音源の再生」)
- オフィスや工場を想定したアナウンス CM、サイン音楽、チャイム音、簡易 BGM が収録された TOA の標準コンテンツ集 (TOA サウンドパッケージ) *² を音源として使用することができます。

*¹ ファームウェアバージョンの確認方法については、別冊の設置説明書をお読みください。設置説明書は TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) からダウンロードできます。

*² 別途ご購入いただく必要があります。最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

使用上のご注意

- 運用中は、メモリーカードを抜かないでください。抜いてしまった場合は、メモリーカードが破損したり本機が故障してしまう可能性があります。
- フロントカバーは、誤操作や故障の防止のために、取り付けて運用してください。
- 本機および AC アダプター (別売品) は、ラジオやワイヤレスチューナーなどの機器からできるだけ離して使用してください。受信障害を引き起こすことがあります。
- インターネットを使用する設定になっている場合、本機は定期的にインターネットを使用して通信を行います。
音楽を再生していないときでも、ケーブルを抜いたり、接続したネットワーク機器の電源を切ったりしないで、24 時間いつでもインターネットへの通信ができるようにしておいてください。
- AC アダプターを安心してご使用いただくためには、点検、交換が必要です。
通常の使用状態で 24 時間連続使用すると、約 5 年が交換の目安となります。
ただし、設置環境と使用状況によっては、これより短時間で寿命となる場合もあります。
- メモリーカードにダウンロードしたコンテンツとサンプル音源は、本機でのみ使用可能です。複製または他の機器で転用する際には著作権者の許諾を得る必要があります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。

お使いになる方に

本機は、コンテンツを配信・制御・再生するシステムです。そのおおまかな仕組みは次のとおりです。

1 コンテンツを準備。

※ コンテンツは TOA の標準コンテンツ集を使用するか、コンテンツパートナーに作成を依頼する必要があります。

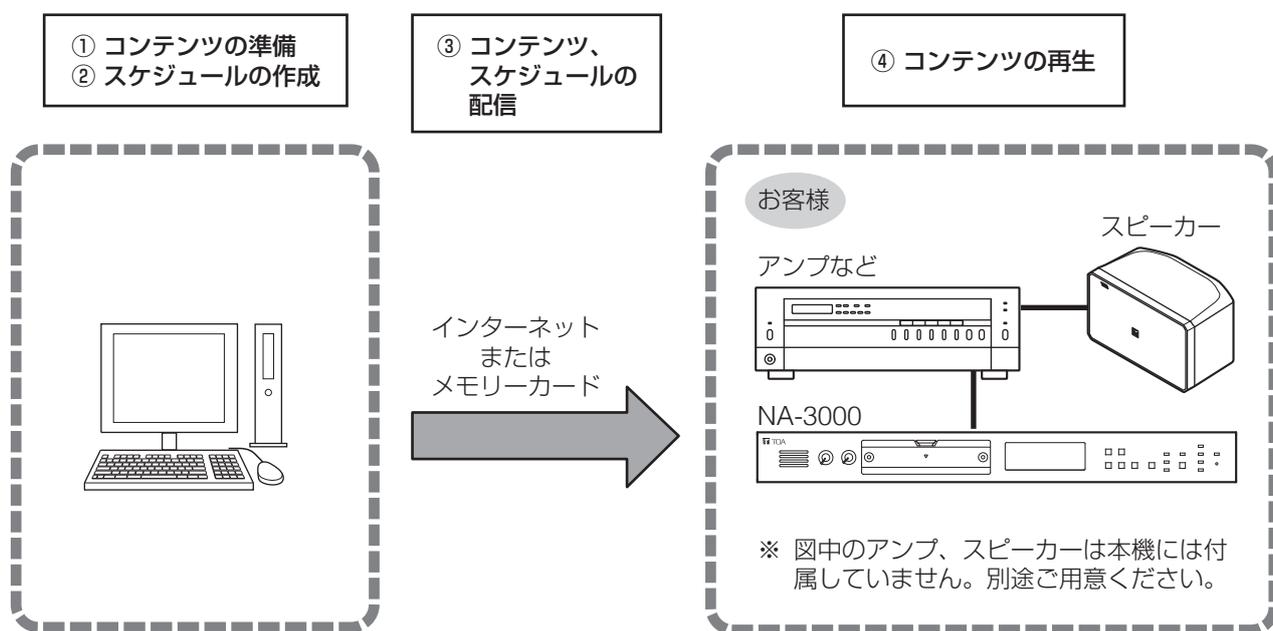
2 スケジュールを作成。

3 インターネットまたはメモリーカードを介してコンテンツ、スケジュールを配信。

4 本機はスケジュールどおりにコンテンツを再生。

通常の運用において、本機は自動でスケジュールどおりにコンテンツを再生するので、基本的にはキー操作などを行う必要はありませんが、より便利な機能を使うためには、いくつかの操作をしていただく必要があります。

具体的な機能と操作手順については、P. 13「運用画面」以降をお読みください。



メモリーカードの取り扱い

■ 使用できるメモリーカード

本機で使用できるのは、付属のメモリーカードまたは別売のメモリーカード NA-CF32G のみです。これ以外のカードを使用した場合、動作の保証はできません。インターネット CM・BGM プレーヤー NA-2100B のメモリーカードは使用できません。

■ メモリーカード取扱上のご注意

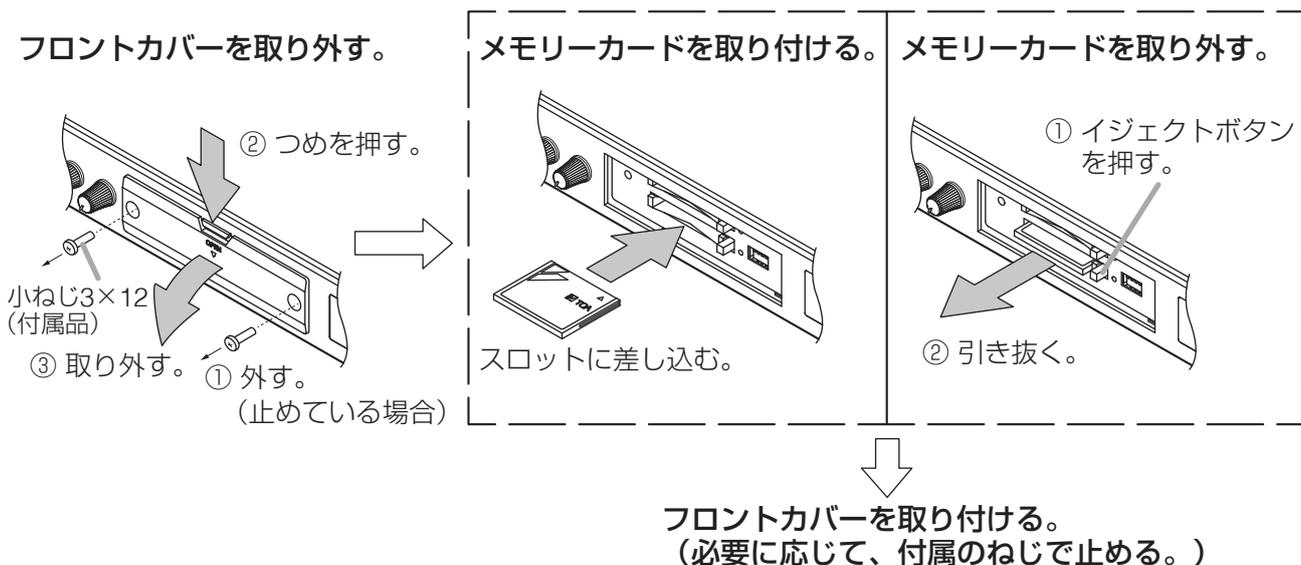
- メモリーカードの端子部を手で触れないでください。静電気により、データ破損の原因となることがあります。
- コネクター部にちり、ほこりなど異物が入らないようにしてください。接触不良の原因となります。
- ラジオ、テレビ、オーディオ機器の近くやモーターなどノイズを発生する機器の近くでは使用しないでください。誤動作することがあります。
- 以下の場所では保管しないでください。
 - ・高温多湿の場所
 - ・ちりやほこりの多い場所
 - ・温度差の激しい場所
 - ・振動や衝撃の加わる場所
- データの書き込みまたは読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、カードスロットから取り出したりしないでください。また、カードをデジタルカメラなどで使用しないでください。データの破壊や消失の恐れがあります。

■ メモリーカードの取り付け・取り外し

メモリーカードの抜き差しは、本機をシステム停止状態にし（P. 32「シャットダウンをする」）、フロントカバーを取り外してから行います。

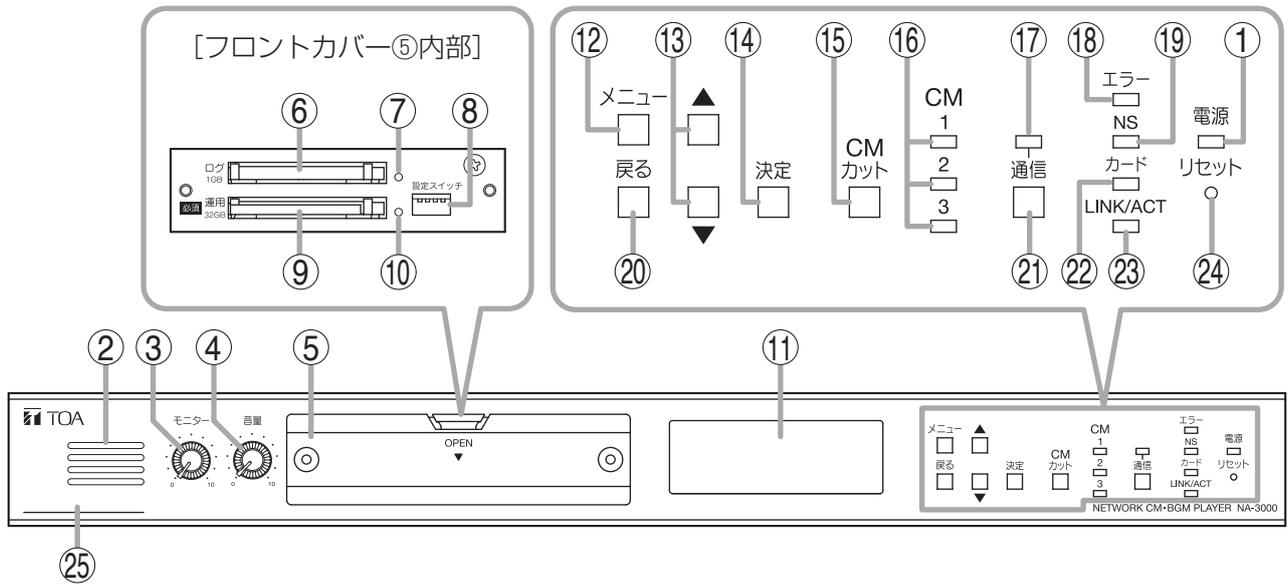
ご注意

本機の運用中または動作中にメモリーカードの抜き差しをすると、カードのデータが失われることがあります。



各部の名称とはたらき

[前面]



1. 電源表示灯

機器に電源を投入すると緑色に点灯します。シャットダウン操作（P. 32）をすると橙色に変わり、電源を停止できる状態になります。電源の供給が停止すると消灯します。

2. モニタースピーカー

出力：0.2 W
放送中の音声を確認するときに使用します。ライン出力端子（39）と同じ音声を出力します。

3. モニタースピーカー出力音量調節つまみ

モニタースピーカー（2）から出力される音声の音量を調節します。ライン出力端子（39）から出力される音声の音量には影響しません。

4. 音量調節つまみ

ライン出力端子（39）から出力される音声の音量を調節します。モニタースピーカー（2）から出力される音声の音量には影響しません。

5. フロントカバー

誤操作防止のカバーです。



必要に応じてカバー両側を付属のねじで固定します。

6. ログメモリーカードスロット

使用しません。

7. ログメモリーカードアクセス表示灯（緑）

使用しません。

8. 機器設定用 DIP スイッチ

機器の各種機能を設定するときに使用します。

9. 運用メモリーカードスロット

付属のメモリーカードまたは別売のメモリーカード NA-CF32G を挿入します。

10. 運用メモリーカードアクセス表示灯（緑）

運用メモリーカードにアクセスしているときに点灯または点滅します。

11. 表示部

各種情報と操作メニューを表示します。



5分以上何も操作しないと、表示部のバックライトが消灯します。

バックライトが消灯しているときは、一度いずれかのキーを押して点灯させてから、希望のキー操作をしてください。

12. メニューキー

表示部（11）にメニュー画面を表示させるときに使用します。

13. 上下キー

メニュー画面で、項目の選択に使用します。

14. 決定キー

メニュー画面で、画面切り換えや操作などの確定に使用します。

15. CM カットキー

使用しません。

16. CM 表示灯

使用しません。

17. 通信表示灯

機器が通信しているときに緑色に点灯します。通信に異常が発生したときは橙色に点滅します。

18. エラー表示灯（赤）

機器に通信以外の異常が発生したときに点滅または点灯します。

19. 運用モード表示灯（緑）

使用しません。

20. 戻るキー

メニュー画面で、画面切り換えや操作などの取り消しに使用します。

21. 通信キー

通信を開始または停止させるときに使用します。

22. カードアクセス表示灯（緑）

運用メモリーカードおよびログメモリーカードにアクセスしているときに点灯または点滅します。

23. LINK/ACT 表示灯（緑）

本機をネットワークに接続すると点灯し、データ送受信中は点滅します。

メモ

後面の LAN 端子（27）の LINK/ACT 表示灯と同期して点灯または点滅します。

24. 本体リセットキー

機器が操作できなくなったときに使用します。2 秒以上押しとシステムを再起動します。

ご注意

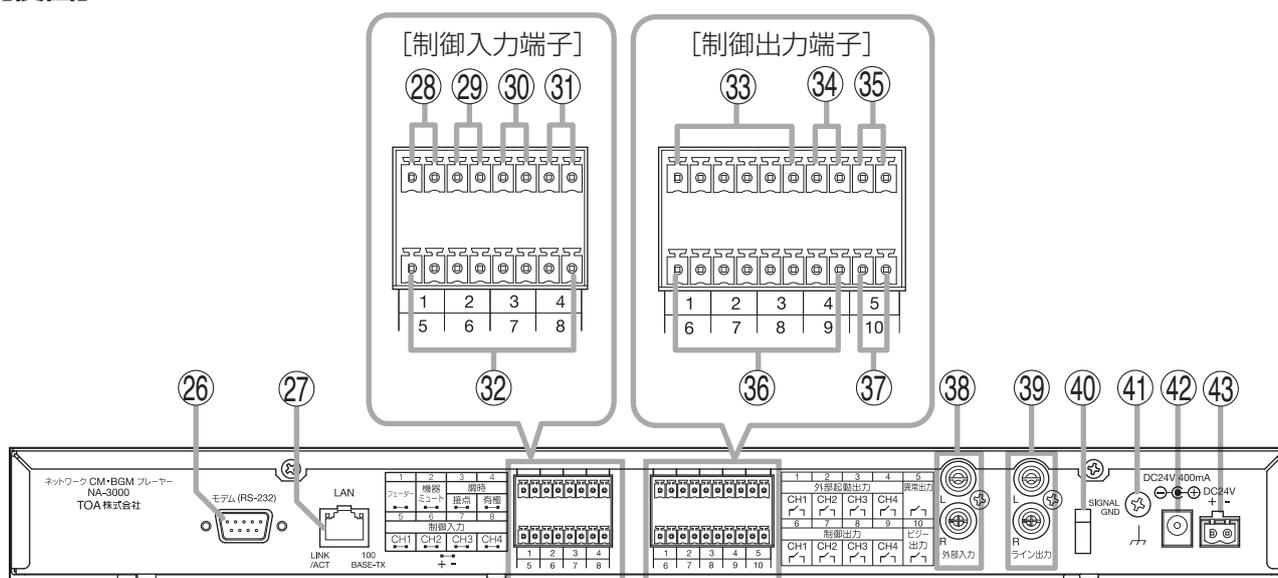
カードアクセス表示灯（22）が点灯または点滅しているときはリセットしないでください。

25. MAC アドレス

本機の MAC アドレス*です。

* ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12 桁の 16 進法で表現されます。

【後面】



26. モデム接続端子（RS-232）

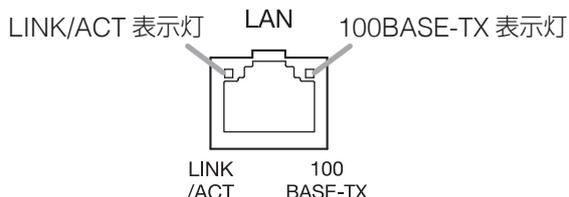
電話回線で本機をネットワークに接続するとき外部モデムに接続する端子です。外部モデムは別途ご用意ください。

ご注意

ファームウェアが Ver. 3 以降の場合、外部モデムは使用できません。

27. LAN 端子

100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。（イーサネット RJ-45 ジャック）



・LINK/ACT 表示灯（緑）

本機をネットワークに接続すると点灯し、データ送受信中は点滅します。

メモ

前面の LINK/ACT 表示灯（23）と同期して点灯または点滅します。

・100BASE-TX 表示灯（橙）

ネットワーク接続時に点灯します。

28. フェーダー入力端子

本体放送と外部入力放送のうち、優先度の低い放送を強制的にフェードアウトさせるときに使用します。（参照 P. 36 「制御入力端子の接続」）

29. 機器ミュート入力端子

NA-3000 の放送を強制的にミュートしたいときに使用します。

（参照 P. 36 「制御入力端子の接続」）

ご注意

ファームウェアが Ver. 3.2.0 以降*1 の場合のみ使用できます。

30. 調時（接点）入力端子

外部から機器の内部時計を調節するときに使用します。（参照 P. 36 「制御入力端子の接続」）

ご注意

調時（有極）入力端子（31）と併用しないでください。

31. 調時（有極）入力端子

外部から機器の内部時計を調節するときに使用します。（参照 P. 36 「制御入力端子の接続」）

ご注意

調時（接点）入力端子（30）と併用しないでください。

32. 制御入力端子 (CH1 ~ 4)

外部から機器に対する制御を入力するときに使用します。制御できる機能は機器の設定内容により異なります。(P. 36 「制御入力端子の接続」)

ご注意

ファームウェアが Ver. 3.2.0 以降*¹ の場合のみ使用できます。

33. 外部起動出力端子 (CH1 ~ 3)

外部機器を制御するときに使用します。スケジュールで設定された時間に従ってメイク接点を出力します。(P. 37 「制御出力端子の接続」)

34. 外部起動出力端子 (CH4)

使用しません。

35. 異常出力端子

機器またはメモリーカードに異常があるとき、あるいは機器の電源が停止しているときに、メイク接点を出力します。

(P. 37 「制御出力端子の接続」)

36. 制御出力端子 (CH1 ~ 4)

外部機器を制御するときに使用します。制御出力の機能は、機器の設定内容により異なります。(P. 37 「制御出力端子の接続」)

ご注意

ファームウェアが Ver. 3.4.0 以降*¹ の場合のみ使用できます。

37. ビジー出力端子

機器の放送中にメイク接点を出力します。(P. 37 「制御出力端子の接続」)

38. 外部入力端子

0 dB*²、10 kΩ、RCA ピンジャック (ステレオ)、不平衡
外部演奏機器の音声を放送するときに接続します。ラインレベルの音声を入力します。

39. ライン出力端子

0 dB*²、600 Ω、RCA ピンジャック (ステレオ)、不平衡
モニタースピーカー (2) と同じ音声を出力します。外部入力放送と本体放送をミキシングしてラインレベルの音声を出力します。

40. コードクランプ

AC アダプターのプラグが抜け落ちないように、固定します。

41. 機能アース端子

必ず接地してください。

42. AC アダプター入力端子

別売の AC アダプター AD-246 を接続します。

43. DC 電源入力端子

DC24 V 電源を接続します。

*¹ ファームウェアバージョンの確認方法については、別冊の設置説明書をお読みください。
設置説明書は TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) からダウンロードできます。

*² 0 dB = 1 V

お使いになる前に

本機をお使いになる前に、次のとおりに準備をしてください。

外部機器と接続する。

必要に応じて、外部機器と接続します。(P. 35 「外部機器の接続」)

ご注意

この時点では、まだ電源は入れないでください。

付属のメモリーカードを運用メモリーカードスロットに挿入する。

(P. 9 「メモリーカードの取り付け・取り外し」)

電源を入れる。

(P. 34 「電源の接続」)

運用画面

■ 運用画面とは

運用画面とは、通常動作時に表示される画面で、以下の3種類があります。

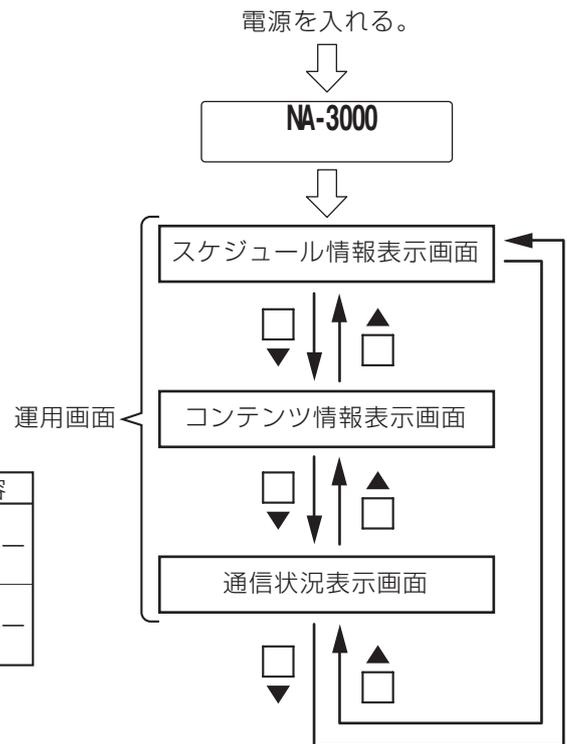
- 「スケジュール情報表示画面」
- 「コンテンツ情報表示画面」
- 「通信状況表示画面」(通信中のみ表示)

電源を入れると、自動的にスケジュール情報表示画面が表示されます。

上下キーの操作でコンテンツ情報表示画面、通信状況表示画面へ移動できます。

[運用画面で表示されるアイコン一覧]

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	スケジュール		コンテンツ(ダイレクト再生中)		決定キー
	スケジュール(変更中)		通信		戻るキー
	コンテンツ(BGM再生中)		エラー		
	コンテンツ(CM再生中)		上下キー		



■ スケジュール情報表示画面

[スケジュール情報画面の例]



スケジュール情報表示は、機器の状態に応じて、右図のようになります。(右図では下段の表示を省略。)

- ・スケジュール運用中の場合

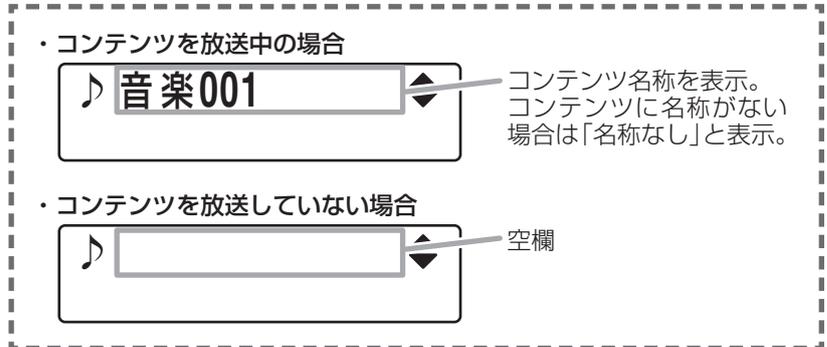
 スケジュール名称を表示。スケジュールに名称がない場合は「名称なし」と表示。
- ・現在時刻に運用可能なスケジュールがない場合
- ・現在時刻以降に運用可能なスケジュールが全くない場合

 空欄
- ・スケジュールファイルを読み込んでいる場合

■ コンテンツ情報表示画面



コンテンツ情報表示は、機器の状態に応じて、右図のようになります。
(右図では下段の表示を省略。)



■ 通信状況表示画面（通信中のみ）

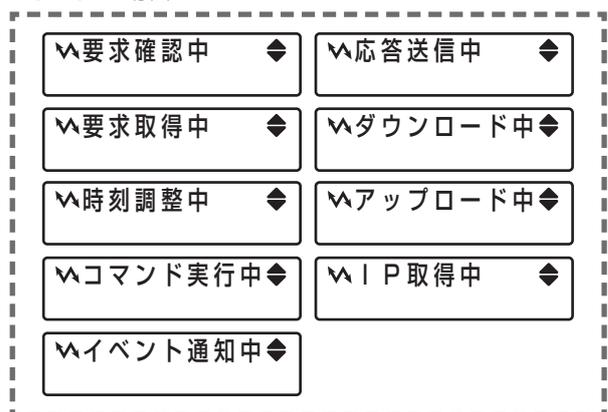


通信状況表示は、現在の通信状態によって下図のようになります。（下図では下段の表示を省略）
通信状態が変化すると、表示は自動的に切り換わります。

Ver. 2 の場合



Ver. 3 の場合



放送内容を更新(サーバーリクエスト)するには

■ サーバーリクエストとは

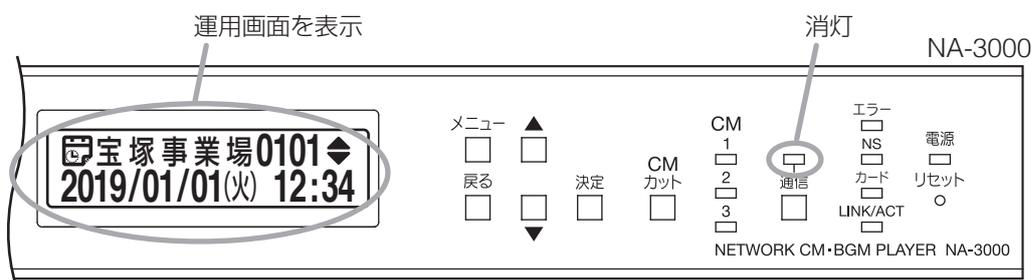
本機は、コンテンツパートナーから送られてきたスケジュールの更新データなどによって放送内容を最新の状態にします。

通信機能を使って更新データを確認、および放送内容を更新することをサーバーリクエストと呼びます。

※ サーバーリクエストを利用するためには、別途サービス契約が必要となります。

■ 手動でサーバーリクエストをする場合

1 運用画面が表示されており、通信表示灯が消灯していることを確認する。



2 通信キーを押す。

通信が開始され、サーバーリクエストが始まります。

通信中は通信表示灯が緑色で点灯します。
更新データを受信すると、自動的に放送内容を最新の状態に更新します。

放送内容の更新が終了すると、通信が完了し、通信表示灯が消灯します。



ご注意

通信表示灯が点滅状態になっているときは、以下のように対処してください。

通信表示灯の状態	通信の状態	対処のしかた
 橙色点滅 通信 	予定した時間内に通信接続ができなかった状態です。	ネットワーク機器の状態およびケーブルの接続を確認してください。 確認後、手動で再度通信キーを押してください。それでも復旧しなかったときは、コンテンツパートナーへお問い合わせください。
(ファームウェアが Ver. 3 より前のときのみ)  緑色点滅 通信 	通信接続ができなかったときに再度通信するまでの待機中の状態です。  再度通信の設定については、コンテンツパートナーに確認してください。	手動で再度通信を開始したい場合は、通信キーを押してください。

■ 通信を途中で停止する場合

ご注意

通信停止機能を ON にしないと、通信を途中で停止することはできません。
工場出荷時には、通信停止機能は OFF に設定されています。

1 通信中にもう一度、通信キーを押す。

表示部に確認画面が表示されます。

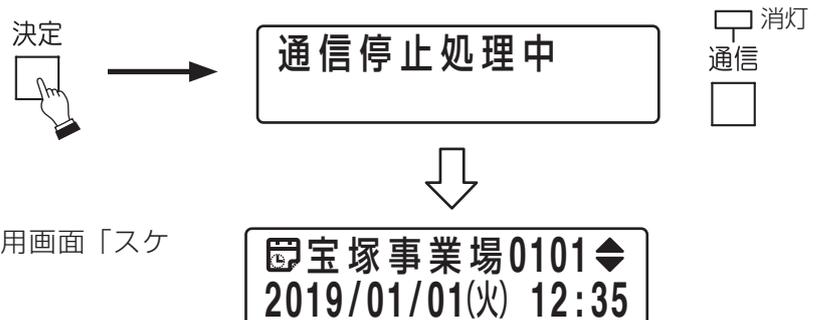


× 毛

停止をキャンセルするときは、通信キーまたは戻るキーを押してください。
運用画面「スケジュール情報表示」に移動し、サーバーリクエストを継続します。

2 決定キーを押す。

通信表示灯が消灯し、「通信停止処理中」画面を表示します。



通信停止処理完了後、自動的に運用画面「スケジュール情報表示」に移動します。

放送音量を調節するには

ライン出力の音量（放送する音量）とモニタースピーカーの音量は、前面パネルの音量調節つまみで行います。

☒ ☒

本機では、音量調節つまみによる音量調節のほかに、メニュー画面での音量設定もできます。

メニュー画面では、本体放送と外部入力放送（外部入力端子に接続した外部演奏機器からの放送）の音量を設定します。本体放送と外部入力放送を同時に行う場合は、それぞれの音量に加えて、ミックスレベルを設定しておく必要があります。（☒ P. 19「音量を設定する（メニュー画面での設定）」）

■ ライン出力音量（放送する音量）を調節するとき

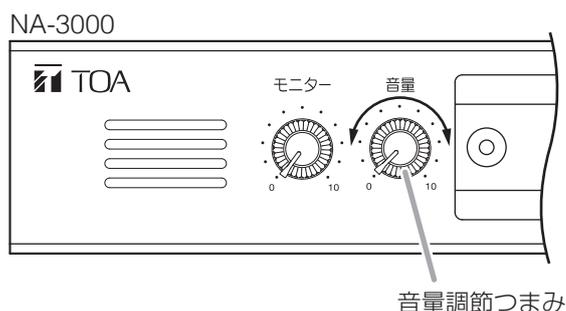
本機からアンプなどの外部機器へ出力する音量を調節するときは、ライン出力音量を調節します。

ライン出力音量の調節は、前面の音量調節つまみで行います。

時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

☒ ☒

ライン出力音量を調節しても、モニタースピーカーの音量は変わりません。



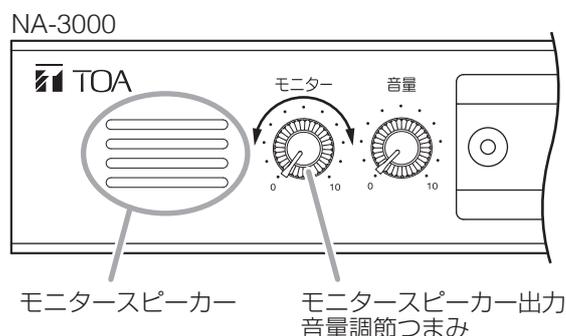
■ モニタースピーカーの音量を調節するとき

モニタースピーカーの音量の調節は、前面のモニタースピーカー出力音量調節つまみで行います。

時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

☒ ☒

モニタースピーカーの音量を調節してもライン出力音量は変わりません。



メニュー画面 (各種設定と操作)

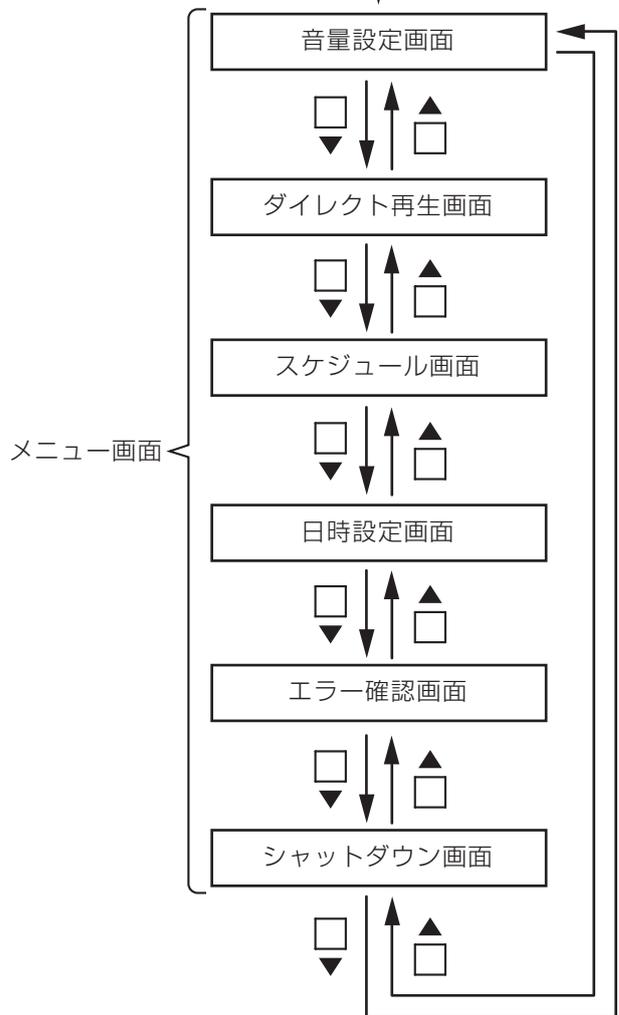
■ メニュー画面を表示させる

- 1 運用画面表示中に、メニューキーを押す。
メニュー画面が表示されます。

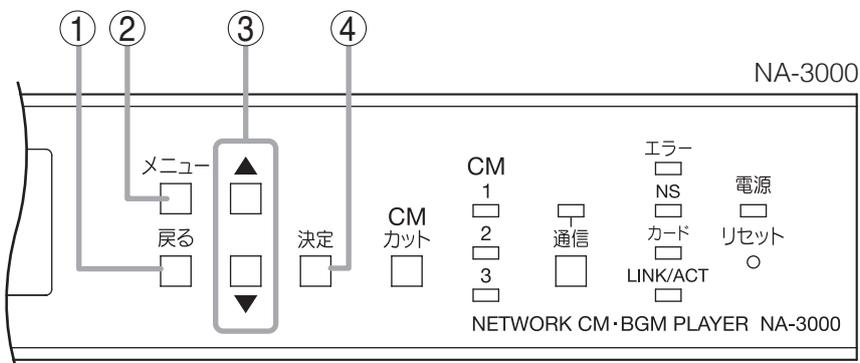


- 2 上下キーを押して、メニュー項目を選択する。
メニュー項目は次のとおりです。

メニュー項目	設定・表示項目
1. 音量設定 (P. 19)	コンテンツ音量
	外部入力音量
	ミックスレベル
2. ダイレクト再生 (P. 23)	—
3. スケジュール (P. 24)	—
4. 日時設定 (P. 27)	時刻
	日時
5. エラー確認 (P. 31)	—
6. シャットダウン (P. 32)	—



■ メニュー画面で使用するキー



キー名称	キーの操作による画面の移動
① 戻るキー	前の画面に戻る。 ※ メニュー項目の選択画面で押したときは、メニュー画面を閉じて、運用画面を表示する。
② メニューキー	メニュー画面を閉じて、運用画面を表示する。
③ 上下キー	メニュー項目、設定項目を選択する。
④ 決定キー	次の画面に進む。

音量を設定する (メニュー画面での設定)

本体放送と外部入力放送の音量を設定します。また、本体放送と外部入力放送を同時に行う場合は、ミックスレベルも設定しておく必要があります。(P. 21)

メ モ

放送中の音量調節は、前面パネルの音量調節つまみで行います。(P. 17 「放送音量を調節するには」)

■ 設定項目

コンテンツ音量：本体放送の音量です。メモリーカードの音源の再生音量を設定します。

外部入力音量：外部入力放送の音量です。外部入力端子に接続した外部演奏機器からの音量を設定します。

ミックスレベル：本体放送と外部入力放送が同時に放送されているときに、優先度*が低い放送の音量（コンテンツ音量または外部入力音量）を下げるすることができます。そのときの優先度が低い方の放送の音量を10段階で設定します。「10」に設定すると、もとの音量のまま下がりにくいです。数値が小さくなるほど音量が下がり、「0」に設定すると、優先度が低い放送をほぼ聞こえない状態にすることができます。

* 本体放送と外部入力放送の間に設定された優先関係で、機器設定の優先設定とスケジュールごとに設定できます。

■ 設定のしかた

1 メニュー画面で上下キーを押して「1. 音量設定」を選択する。

音量設定画面 (メニュー)

メニュー
1. 音量設定

決定 ↓ ↑ 戻る

2 決定キーを押す。

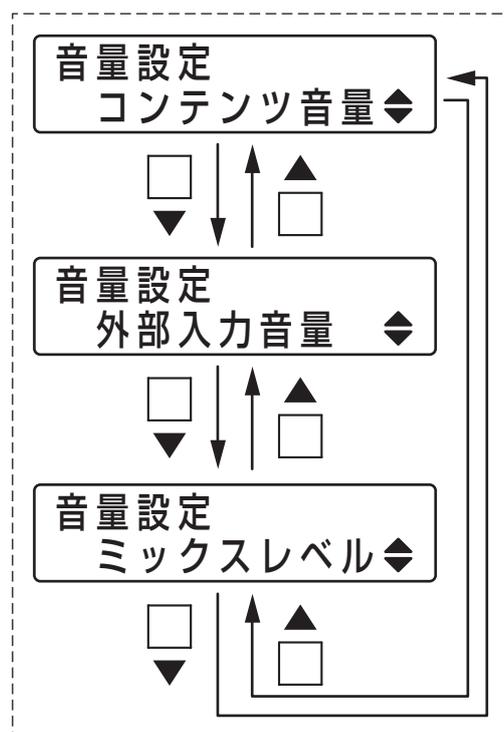
音量設定項目選択画面が表示されます。

音量設定項目選択画面

3 上下キーを押して、「コンテンツ音量」、「外部入力音量」、「ミックスレベル」から設定したい項目を選択する。

メ モ

メニューキーを押すと、運用画面に戻ります。



4 決定キーを押す。

決定 ↓ ↑ 戻る

次ページへ

選択した項目の音量設定画面が表示されます。

- 5** 上下キーを押して、音量の数値を設定する。
(設定範囲：00～10)

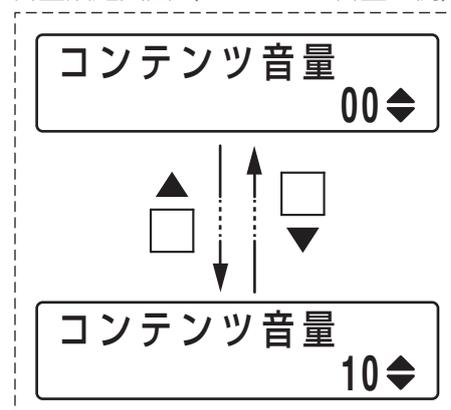
- 6** 決定キーを押す。
音量の設定値が変更され、運用画面に移動します。

ご注意

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、音量の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、音量の設定値は変更されずに**手順 2**の音量設定項目選択画面に戻ります。

- 7** 他の音量設定項目を設定する場合は、もう一度メニュー画面を表示させ、**手順 1～6**を繰り返す。

前ページから
↓ ↑
音量設定画面 (コンテンツ音量の例)



■ 本体放送および外部入力放送の設定音量とミックスレベル

フェーダー入力接点を使用するかどうかで動作が異なります。

● フェーダー入力接点を使用しないとき

音量制御の動作は、本体放送と外部入力放送が混在するかどうかで、次の2つのパターンがあります。

- ① 本体放送と外部入力放送が混在しないとき
入力されている1つの音源が、設定された音量で放送されます。
- ② 本体放送と外部入力放送が混在するとき
優先度の低い放送の放送中に優先度の高い放送が始まると、優先度の低い放送の音量が下がります。(下記の動作例参照)

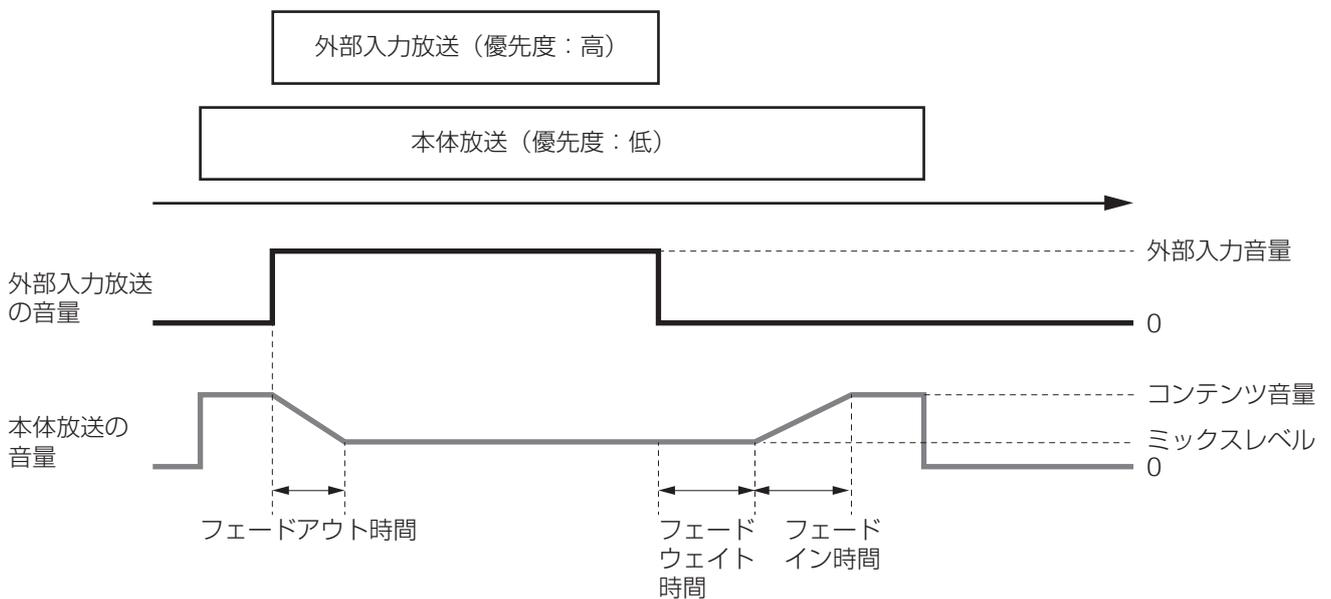
本体放送と外部入力放送が混在するときの音量制御の動作例

通常は本体放送でBGMを放送しているが、時々外部入力放送で臨時CM放送したい場合の例です。

【優先度の設定と放送内容の使用例】

	優先度の設定	放送内容
本体放送	低い	BGM
外部入力放送	高い	臨時CM

【動作イメージ】



【注意】

- 優先度の高い放送が開始してから優先度の低い放送の音量が下がり始めるので、優先度の高い放送の開始部分が聞き取れないことがあります。
- ミックスレベルが「0」に設定されているときでも、フェードアウト中は放送が重なります。

● フェーダー入力接点を使用するとき

フェーダー入力端子をメイクすると、本体放送と外部入力放送の混在に関係なく、優先度の低い放送をフェードアウトさせ、ミックスレベルに従った音量で放送できます。ブレイクすると、優先度の低い放送をフェードインさせ、元の音量で放送できます。

フェーダー入力端子を使って音量制御を行うことで、優先度の低い放送のフェードアウトが完了してから、優先度の高い放送を開始できます。

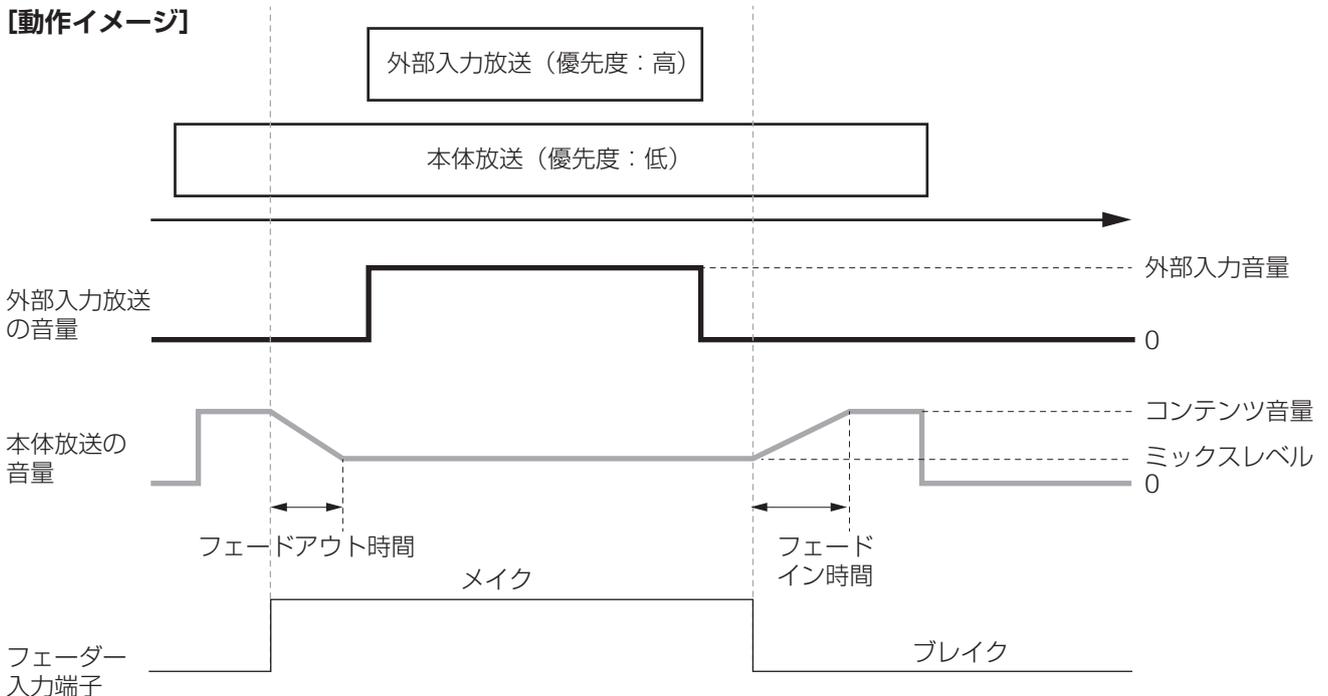
フェーダー入力端子を使用したときの音量制御の動作例

通常は本体放送で BGM を放送しているが、時々外部入力放送で臨時CM 放送したい場合の例です。

【優先度の設定と放送内容の使用例】

	優先度の設定	放送内容
本体放送	低い	BGM
外部入力放送	高い	臨時CM

【動作イメージ】



メモ

- 放送の優先度は、本体放送中はスケジュールの優先設定に従い、本体放送をしていないときは、機器設定の優先設定に従います。
- 本体放送と外部入力放送の混在により、すでに優先度が低い放送の音量がミックスレベルまで下がっている場合、フェーダー入力端子をメイクしても音量は変化しません。

ダイレクト再生をする (メニュー画面での操作)

■ダイレクト再生とは

ダイレクト再生とは、あらかじめ特定のコンテンツを登録しておくことで、スケジュールに関係なくそのコンテンツを再生できる機能です。

不定期で頻繁にお知らせするメッセージなどを放送する場合に使用します。

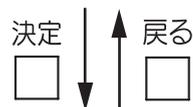
登録できる最大数は 100 件です。

■ダイレクト再生をする

スケジュール運用中にメニュー画面を表示させ、以下の操作でダイレクト再生ができます。また、ダイレクト再生中に同様の操作で別の再生リストを選択すると、ダイレクト再生の変更ができます。

1 メニュー画面で上下キーを押して「2.ダイレクト再生」を選択する。

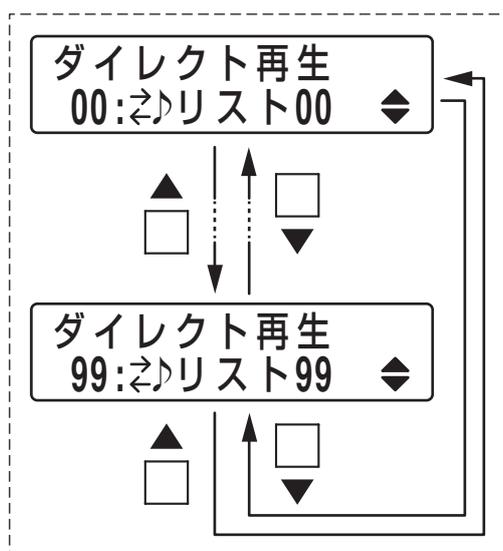
ダイレクト再生画面 (メニュー)



2 決定キーを押す。

ダイレクト再生選択画面が表示されます。

ダイレクト再生選択画面



[ダイレクト再生選択画面の例]



登録番号 動作アイコン 再生リスト名*

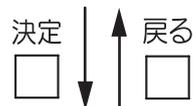
* スケジュール運用中：登録番号の最も小さい再生リスト名を表示
ダイレクト再生中：放送中の再生リスト名を表示

※ コンテンツが 1 件も登録されていないときは、下段に「登録リストなし」とだけ表示されます。

3 上下キーを押して、放送するダイレクト再生の登録名称を選択する。

メニュー

- 登録のある番号のみ表示されます。
- 上下キーを長押しする（押し続ける）と、押ししている間は数値が進み続けます。
- メニューキーを押すと運用画面に戻ります。



4 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

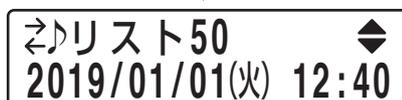


5 決定キーを押す。

再生中のスケジュールまたはダイレクト再生を停止して、選択したダイレクト再生を開始し、表示部の表示が運用画面「コンテンツ情報表示」に移動します。

メニュー

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、手順 4 で決定したダイレクト再生を中止して、運用画面に戻ります。



■ ダイレクト再生を停止するとき

ダイレクト再生中にメニュー画面を表示させ、以下の操作でダイレクト再生を停止できます。

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「2. ダイレクト再生」を選択する。

ダイレクト再生画面（メニュー）



- 2 決定キーを押す。

ダイレクト再生選択画面が表示され、放送中の再生リスト名が表示されます。



ダイレクト再生選択画面



- 3 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。



- 4 決定キーを押す。

放送中のダイレクト再生を停止し、表示部の表示が運用画面「コンテンツ情報表示」に移動します。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、放送中のダイレクト再生を停止せずに、運用画面に戻ります。



スケジュールを変更する (メニュー画面での操作)

■ スケジュールの変更とは

スケジュール変更とは、運用中のスケジュールを任意のスケジュールに変更できる機能です。この機能を使用するには、あらかじめ設定が必要です。

【ご注意】

変更を解除 (P. 26) するまでは、変更したスケジュールで運用を継続します。

■ スケジュールを変更する

通常のスケジュール運用中にメニュー画面を表示させ、以下の操作でスケジュール変更ができます。また、変更したスケジュールを運用中に同様の操作で別のスケジュールを選択すると、スケジュール変更ができます。スケジュール変更機能が使用できない設定になっているときは、スケジュール名のみ確認できます。

1 メニュー画面で上下キーを押して「3. スケジュール」を選択する。

スケジュール画面（メニュー）



2 決定キーを押す。

スケジュール選択画面が表示されます。

[スケジュール選択画面の例]



登録番号 動作アイコン スケジュール名*

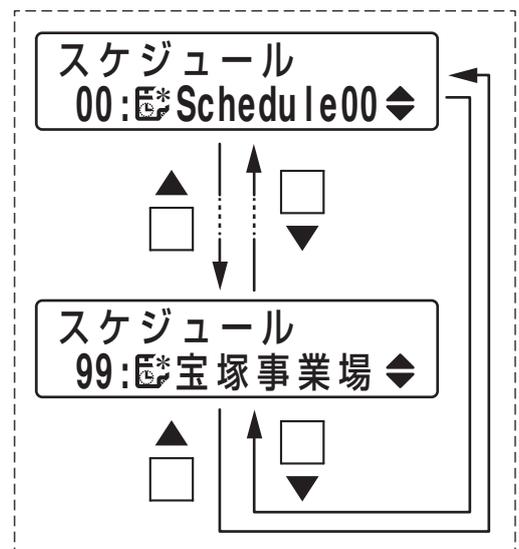
* 通常のスケジュール運用中：

登録されたスケジュールの中で優先度が高いものを表示。
同じ優先度のスケジュールが複数ある場合は、更新日が新しいものを表示。

スケジュール変更中：変更中のスケジュール名を表示。

※ スケジュールが 1 件も登録されていないときは、下段に「スケジュールなし」とだけ表示されます。

スケジュール選択画面



3 上下キーを押して、変更するスケジュールを選択する。

ご注意

スケジュールには有効期限があります。名称が「一変更不可一」（有効期限内）または「一期限切れ一」（有効期限後）のスケジュールは変更できません。

× モ

- 登録のある番号のみ表示されます。
- 上下キーを長押しする（押し続ける）と、押し続けている間は数値が進み続けます。
- メニューキーを押すと運用画面に戻ります。



4 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

× モ

スケジュール変更機能が使用できない設定になっているときは、決定キーを押しても確認画面は表示されません。



5 決定キーを押す。

選択したスケジュールに変更され、表示部の表示が運用画面「スケジュール情報表示」に移動します。

× モ

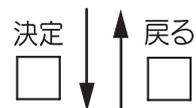
決定キーの代わりにメニューキーを押すと、手順 4 で決定したスケジュールへの変更をせずに、運用画面に戻ります。

■ スケジュールを通常運用に戻すとき

変更したスケジュールを運用中に、メニュー画面を表示させ、以下の操作で通常の運用に戻すことができます。

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「3. スケジュール」を選択する。

スケジュール画面（メニュー）



- 2 決定キーを押す。

変更中のスケジュール名が表示されます。

スケジュール選択画面

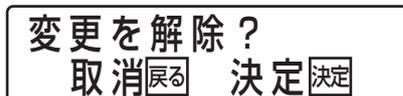


- 3 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

戻る

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。



- 4 決定キーを押す。

スケジュール変更が解除され、通常運用に戻ります。

戻る

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、スケジュール変更状態のままとなり、運用画面に戻ります。



日時設定のしかた (メニュー画面での設定)

■ 日時を設定するとき

1 メニュー画面で上下キーを押して「4. 日時設定」を選択する。

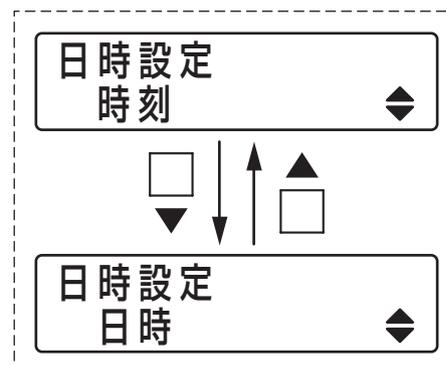
日時設定画面 (メニュー)



2 決定キーを押す。
時刻／日時選択画面が表示されます。



時刻／日時選択画面



3 上下キーを押して「日時」を選択する。

4 決定キーを押す。

日時 (年月日) の設定画面が表示され、年の設定が変更できるようになります。

× 毛

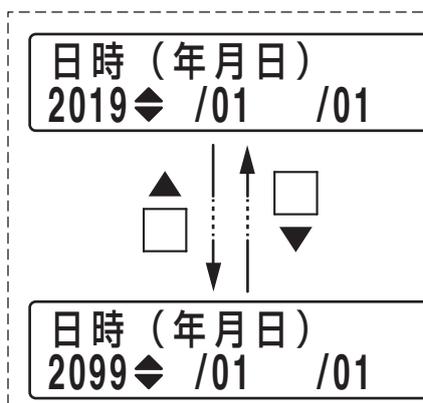
決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。



5 上下キーを押して、年の数値を設定する。

× 毛

上下キーを長押しする (押し続ける) と、押ししている間は数値が進み続けます。



6 決定キーを押す。

年の設定が変更され、月の設定が変更できるようになります。

× 毛

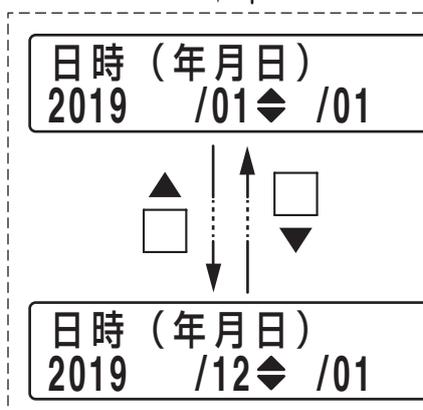
- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時 (年月日) の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、年の設定値は変更されずに手順 3 の時刻／日時選択画面に戻ります。



7 上下キーを押して、月の数値を設定する。

× 毛

上下キーを長押しする (押し続ける) と、押ししている間は数値が進み続けます。



次ページへ

8 決定キーを押す。

月の設定値が変更され、日の設定が変更できるようになります。

☒ ☒

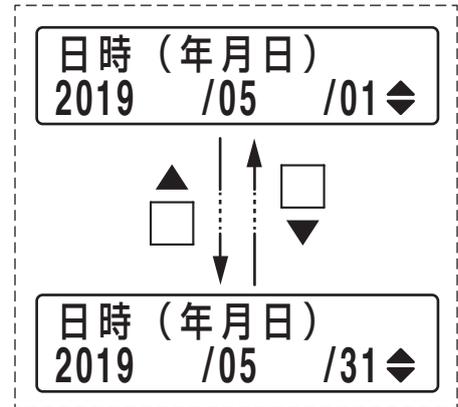
- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（年月日）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、月の設定値は変更されずに手順5の年の設定画面に戻ります。

9 上下キーを押して、日の数値を設定する。

☒ ☒

上下キーを長押しする（押し続ける）と、押し続けている間は数値が進み続けます。

前ページから



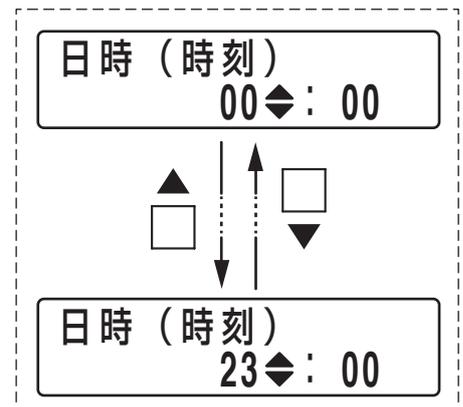
10 決定キーを押す。

日の設定値が変更されます。日時（時刻）の設定画面が表示され、時刻の設定ができるようになります。

☒ ☒

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（年月日）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、日の設定値は変更されずに手順7の月の設定画面に戻ります。

11 上下キーを押して、時間の数値を設定する。



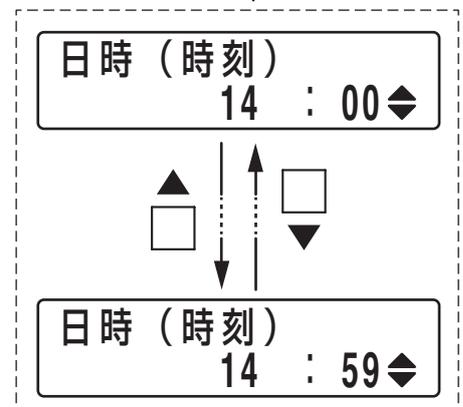
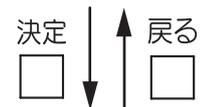
12 決定キーを押す。

時間の設定が変更され、分の設定が変更できるようになります。

☒ ☒

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（時刻）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、時間の設定値は変更されずに手順9の日の選択画面に戻ります。

13 上下キーを押して、分の数値を設定する。



14 時報などに合わせて決定キーを押す。

分の設定値が変更され、同時に秒が「0」に設定されて、メニュー画面に入る前の運用画面に戻ります。

ご注意

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（時刻）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、分の設定値は変更されずに手順11の時間の設定画面に戻ります。



■ 時刻だけを設定するとき

1 メニュー画面で上下キーを押して「4. 日時設定」を選択する。

2 決定キーを押す。

時刻／日時選択画面が表示されます。

3 上下キーを押して「時刻」を選択する。

4 決定キーを押す。

時刻の設定画面が表示され、時間の設定が変更できるようになります。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。

5 上下キーを押して、時間の数値を設定する。

6 決定キーを押す。

時間の設定が変更され、分の設定が変更できるようになります。

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、時刻の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、時間の設定値は変更されずに手順3の時刻／日時選択画面に戻ります。

7 上下キーを押して、分の数値を設定する。

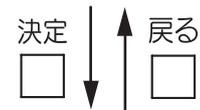
8 時報などに合わせて決定キーを押す。

分の設定値が変更され、同時に秒が「0」に設定されて、メニュー画面に入る前の運用画面に戻ります。

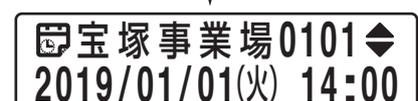
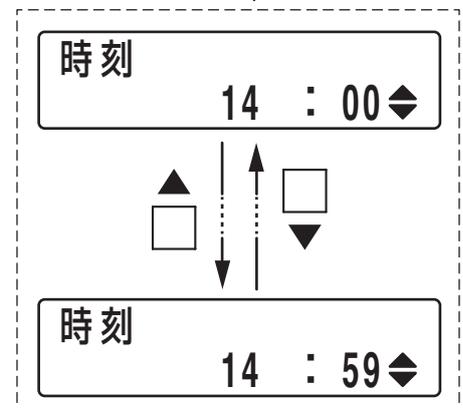
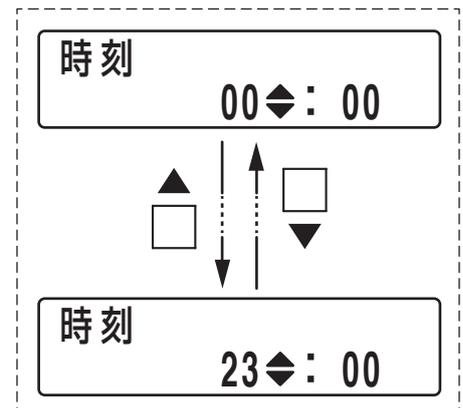
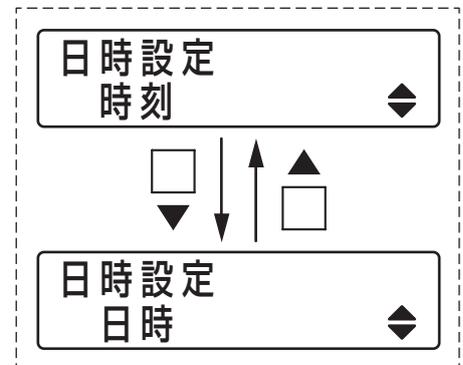
ご注意

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、時刻の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、分の設定値は変更されずに手順5の時間設定画面に戻ります。

日時設定画面 (メニュー)



時刻／年月日選択画面



■ 動作確認のために時刻設定をするとき

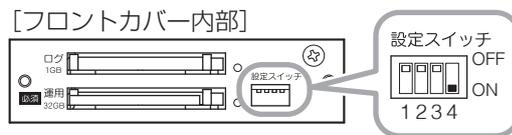
スケジュールの動作確認をするとき、選択した時刻の 10 秒前に本体時刻を自動で設定することができます。例えば 14:00 に放送開始するスケジュールの動作確認をするとき、時刻を 14:00 に設定した後、10 秒の待機で選択した時刻の放送動作を確認できます。

ご注意

ファームウェア Ver. 3.4.0 以降* の場合のみ、以下の操作によりこの機能が有効になります。

* ファームウェアバージョンの確認方法については、別冊の設置説明書をお読みください。
設置説明書は TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) からダウンロードできます。

1 フロントカバー内部の機器設定用 DIP スイッチのスイッチ 4 を ON にする。



2 「日時を設定するとき」(P. 27) または 「時刻だけを設定するとき」(P. 29) を実施する。

この機能が有効のときは、日時または時刻設定画面の右上に「-10s」と表示されます。



[この機能を有効にしたときの例]

選択した時刻	設定される時刻
2019年01月01日00時00分	2018年12月31日23時59分50秒
2019年01月01日14時00分	2019年01月01日13時59分50秒

3 スケジュールの動作確認を行う。

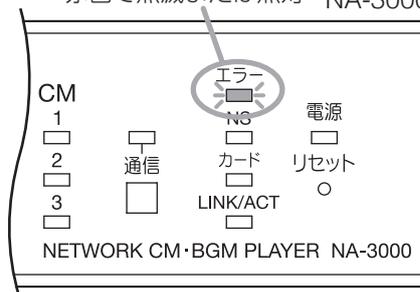
4 動作確認が完了したら、手順 1 で ON にしたスイッチ 4 を OFF にする。

5 日時を元に戻す。(参照 P. 27、P. 29)

エラー確認のしかた (メニュー画面での操作)

本機に異常が発生した場合、前面のエラー表示灯が赤色で点滅または点灯します。

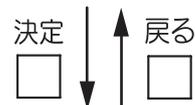
赤色で点滅または点灯 NA-3000



以下の手順でエラー内容を確認してください。

- 1** メニュー画面で上下キーを押して「5. エラー確認」を選択する。

エラー確認画面(メニュー)



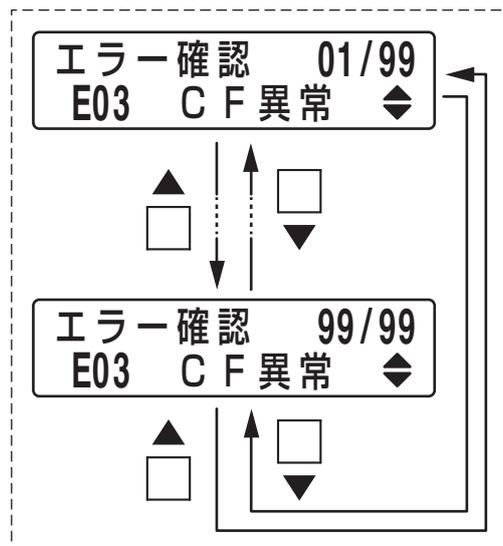
- 2** 決定キーを押す。

エラー表示画面が表示されます。

[エラー表示画面の例]



エラー表示画面



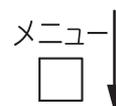
- 3** 複数のエラーがあるときは、上下キーでエラー表示を切り換える。

- 4** 確認が終了したら、メニューキーを押す。

エラー表示灯が消灯し、運用画面に戻ります。

ご注意

- メニューキーを押すと、エラー表示はすべて解除されます。発生内容の再表示はできません。
- メニューキーの代わりに戻るキーを押すと、エラー表示がすべて解除されてメニュー画面に戻ります。エラー内容の再表示はできません。



シャットダウンをする (メニュー画面での操作)

■ シャットダウンとは

本機をシステム停止状態にすることをシャットダウンといいます。
本機の電源を切るには、システム停止状態にする必要があります。

■ シャットダウンをする

メニュー画面を表示させ、以下の操作をします。

1 メニュー画面で上下キーを押して「6. シャットダウン」を選択する。

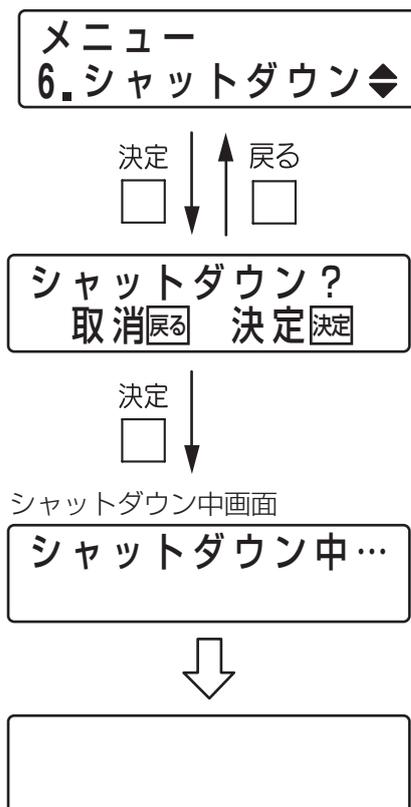
2 決定キーを押す。
確認画面が表示されます。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、シャットダウンを中止して、運用画面に戻ります。

3 決定キーを押す。
シャットダウン中画面が表示され、シャットダウンを実行します。

シャットダウン処理が完了すると、システム停止状態になり、画面の表示は消えます。

シャットダウン画面 (メニュー)



ご注意

電源を切るときは、画面の表示が消えたことを確認してから、本機への電源の供給を止めてください。

■ システム停止状態から復帰させるとき

電源表示灯が橙色に点灯し、表示部に何も表示されていないときは、システム停止状態になっています。システム停止状態から通常動作に復帰させることができます。

システム停止中に、メニューキーを3秒以上押す。

再起動します。
再起動完了後、運用画面のスケジュール情報表示画面に移動します。

システム停止中(表示なし)



メニュー
3秒以上
押す。 □ ↓
再起動



× 毛

システム停止中に、戻るキー、上下キー、決定キーのいずれかを押したときは、「メニューキー長押しで再起動」画面が表示されます。

そのときもメニューキーを3秒以上押すと、システム停止状態から復帰させることができます。

システム停止中(表示なし)



戻る ▲ 決定
□ □ □ □
↓
いずれか1つを押す。



メニュー
3秒以上
押す。 □ ↓
再起動



■ LAN、モデムの接続

③ LAN の接続

インターネットに接続可能なネットワークに接続します。
同一のネットワークに接続したパソコンから各種設定をすることができます。
接続可能なネットワークインターフェース：100BASE-TX

④ モデムの接続（ファームウェアバージョンが Ver. 3 より前の場合のみ）

ご注意

- ファームウェアが Ver. 3 以降の場合は、モデムの使用はできません。
- 分配器を介して、モデムと他の外部機器（電話機や FAX など）をモジュージャックに接続した場合、1 つの回線を共有する形になるため、いずれかの機器が通信を行っている間、他の機器は通信できません。

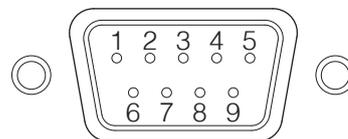
モデムは次の仕様のものでお使いください。

仕様：RS-232 シリアル接続のアナログモデム、制御コマンドが AT コマンド準拠

※ モデムとモジュージャックの接続については、モデムの取扱説明書をお読みください。

☒ ☒ モデム接続端子のピン配置は右図のとおりです。

モデム (RS-232)



端子番号	機能	信号方向		機能概要
		NA-3000	モデム	
—	フレーム* (FG)	—	—	フレームグランド
1	キャリア検出 (CD)	←	←	キャリア信号検出中のモニター
2	受信データ (RD)	←	←	モデムから NA-3000 にデータ送出
3	送信データ (SD)	→	→	NA-3000 からモデムにデータ送出
4	端末装置レディ (ER)	→	→	NA-3000 への通信可能
5	信号用グランド (SG)	—	—	信号用グランド (信号の基準電圧)
6	データセットレディ (DR)	←	←	モデムへの通信可能
7	送信要求 (RS)	→	→	送信要求信号、RS/CS フロー制御にも使用
8	送信許可 (CS)	←	←	送信許可信号、RS/CS フロー制御にも使用
9	呼び出し信号 (CI)	←	←	着信時の信号モニター

* フレームは、コネクタ外周の金属部分となります。

■ 外部機器の接続

⑤ 外部演奏機器の接続

CD プレーヤーなどの外部演奏機器を接続し、本機が再生するスケジュールとは別に、任意の音楽などを放送することができます。

外部入力仕様：0 dB (0 dB = 1 V)、10 k Ω 、RCA ピンジャック（ステレオ）、不平衡

- 外部演奏機器がモノラルのときは、L 側に接続してください。
- 外部演奏機器の音量は、メニュー画面の「外部入力音量」で調節できます。

⑥ 外部アンプの接続

本機からの出力を、外部アンプやミキサーなど、別の機器に入力することができます。

ライン出力仕様：0 dB (0 dB = 1 V)、600 Ω 、RCA ピンジャック（ステレオ）、不平衡

- 外部アンプがモノラルのときは L 側に接続してください。
- 出力音量レベルは、前面の音量調節つまみで調節できます。

■ 機能アースの接続

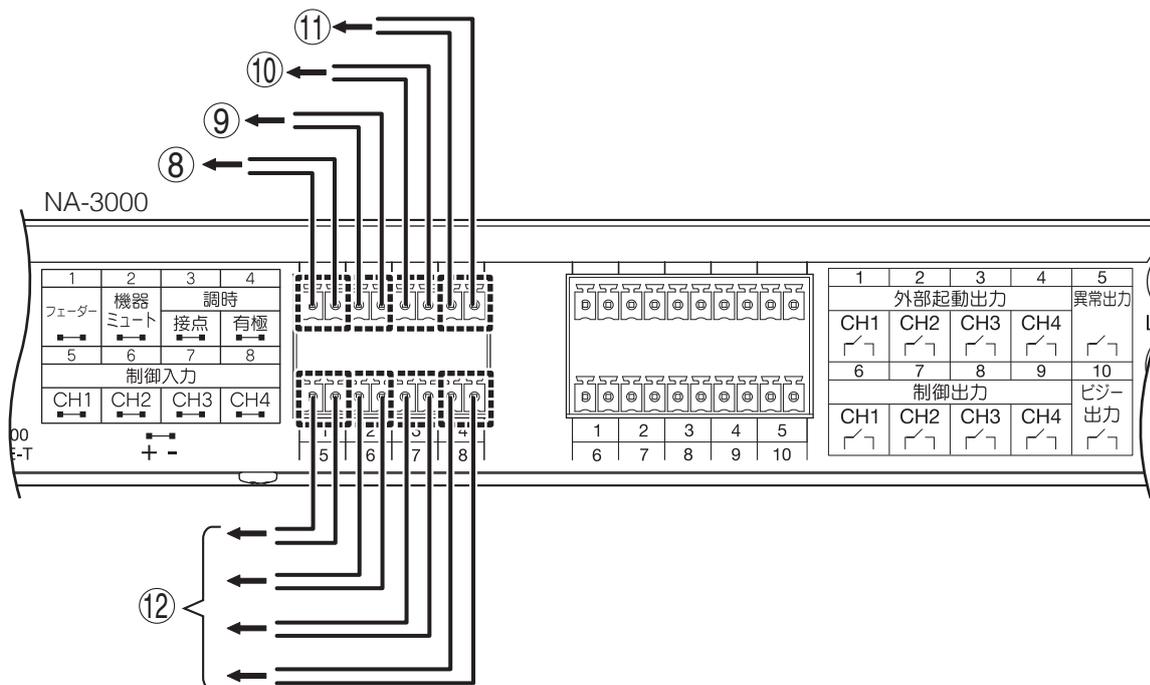
⑦ 機能アースの接続

アース端子や筐体アースに接地してください。

ご注意

本機の機能アース端子は安全アースではありません。

■ 制御入力端子の接続



⑧ フェーダー入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上メイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

⑨ 機器ミュート入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上メイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

● 調時入力

本機の内部時計は、外部時計と同期がとれます。同期がとれる外部時計は、次の 2 種類です。

- 無電圧メイク接点を出力する親時計
- 有極式親時計

⑩ 調時(接点)入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上調時(接点)入力端子に、無電圧メイク接点を出力する親時計の接点出力線を接続します。

⑪ 調時(有極)入力端子

DC24 V、30 秒有極信号、パルス幅 0.5 秒

調時(有極)入力端子に有極式親時計の有極信号出力線を接続します。

ご注意

- 有極式親時計の有極信号出力は、必ず調時(有極)入力端子に接続してください。調時(接点)入力端子に接続すると回路が破壊されることがあります。
- 調時(有極)入力端子と調時(接点)入力端子の併用はしないでください。
- 30 秒有極信号以外の信号を調時(有極)入力端子に入力しないでください。本機の内部時計がずれることがあります。親時計によっては、自動合わせ機能などにより、30 秒有極信号以外の信号を出力するものがあります。

× 毛

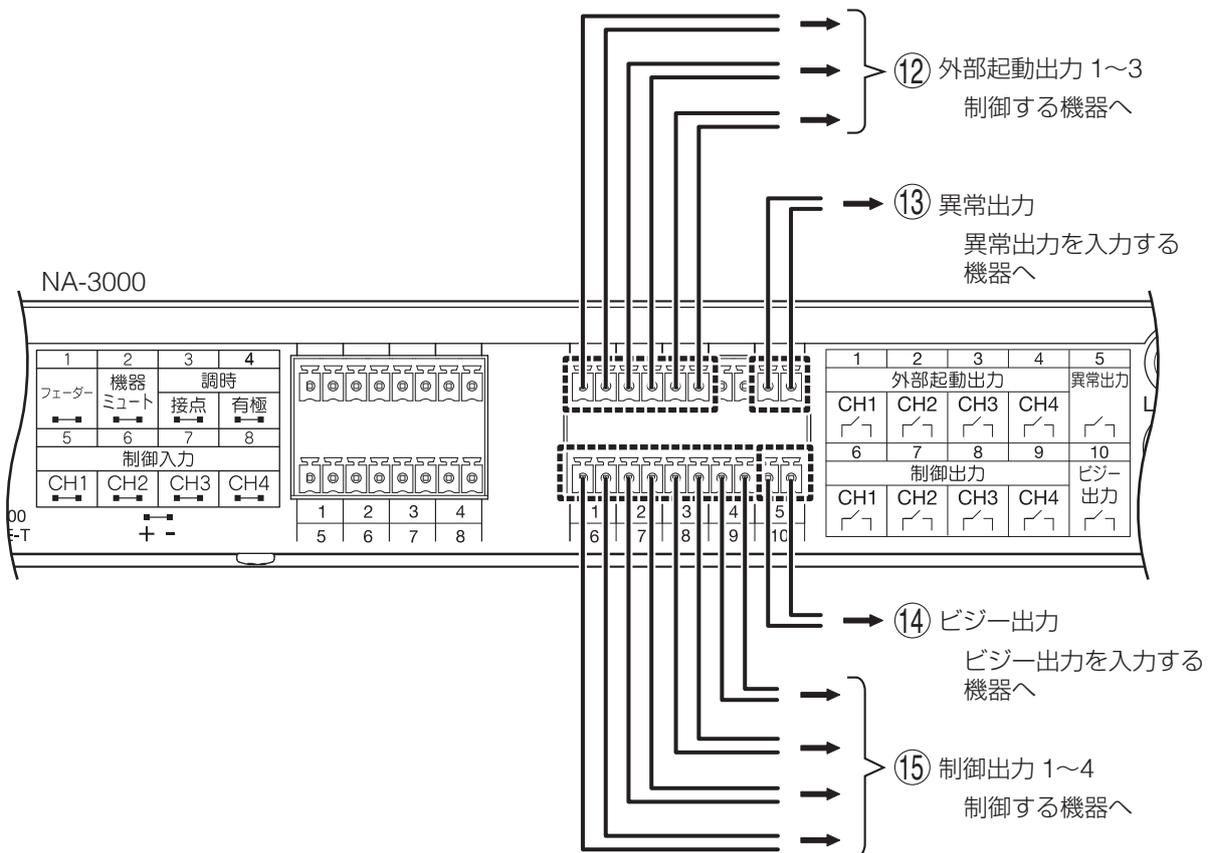
外部機器の時計との同期のタイミングが 30 秒ほどずれる場合は、調時(有極)入力端子のプラスとマイナスの線を逆に接続すると、症状が解消することがあります。

⑫ 制御入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上

メイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

■ 制御出力端子の接続



制御線を接続し、本機から各種信号を出力します。

接続には付属の着脱式ターミナルプラグ 10P を使用します。

(着脱式ターミナルプラグの接続のしかた 128 次ページ)

- 該当する端子間からメイク信号が出力されます。該当する動作が継続している間は、接点がメイクした状態を保持します。
- 信号の仕様は次のとおりです。
 - 接点種別 : リレー接点出力
 - 耐電圧 : DC30 V
 - 制御電流 : 0.5 A 以下

⑬ 外部起動出力 1 ～ 3

スケジュールで設定された時間に従ってメイク信号を出力します。

- 外部起動出力端子 1 ～ 3 から、それぞれメイク信号を出力します。
- 3 つの信号は独立して動作するので、スケジュールで自由に設定することができます。

ご注意

外部起動出力端子 4 は使用しません。

⑭ 異常出力

機器またはメモリーカードに異常があるときと機器の電源が停止しているときに、外部機器に対してメイク信号を出力します。

⑮ ビジー出力

コンテンツを再生しているときに、外部機器に対してメイク信号を出力します。

メモ

外部機器から放送しているときにビジー信号を出力するには、本機の設定が必要です。

- ビジー信号を出力しているときは、本機から放送していることを示します。
- ビジー信号を出力していないときは、本機から何も放送していないことを示します。

⑯ 制御出力 1 ～ 4

設定された機能に従ってメイク信号を出力します。

■ 着脱式ターミナルプラグの接続のしかた

● 配線手順

1 着脱式ターミナルプラグに線材を接続する。

1-1 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

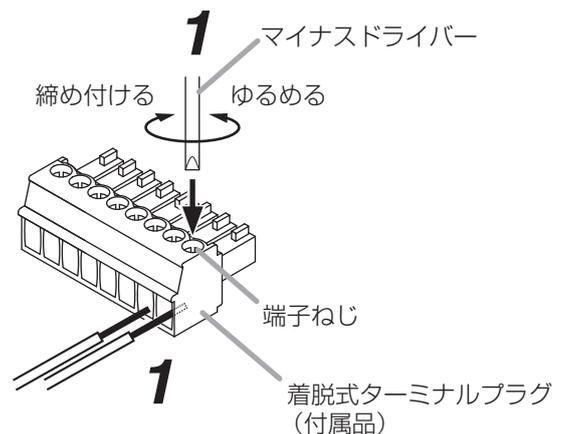
1-2 端子ねじをしっかりと締め付ける。

線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
抜けたら、端子ねじをゆるめてやり直してください。

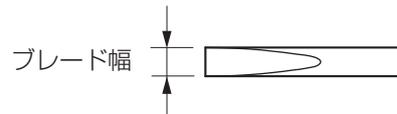
2 ターミナルプラグを機器側のターミナルブロックに差し込む。

ご注意

手順の 1 と 2 を逆にしないでください。
端子ねじを締め付けるときに、ボードとの接続部のコネクタピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。



[推奨マイナスドライバー]

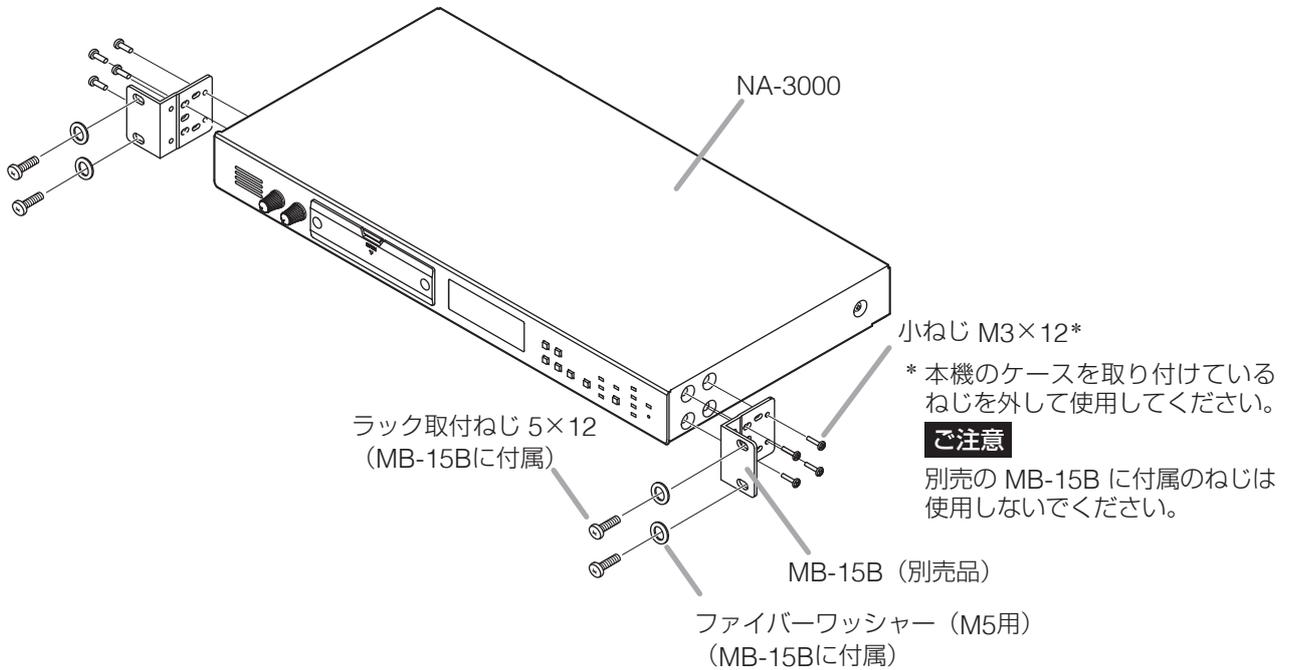


DC電源入力端子の場合：ブレード幅が3.5 mm程度のもの
それ以外の場合：ブレード幅が2.5 mm程度のもの

設置のしかた

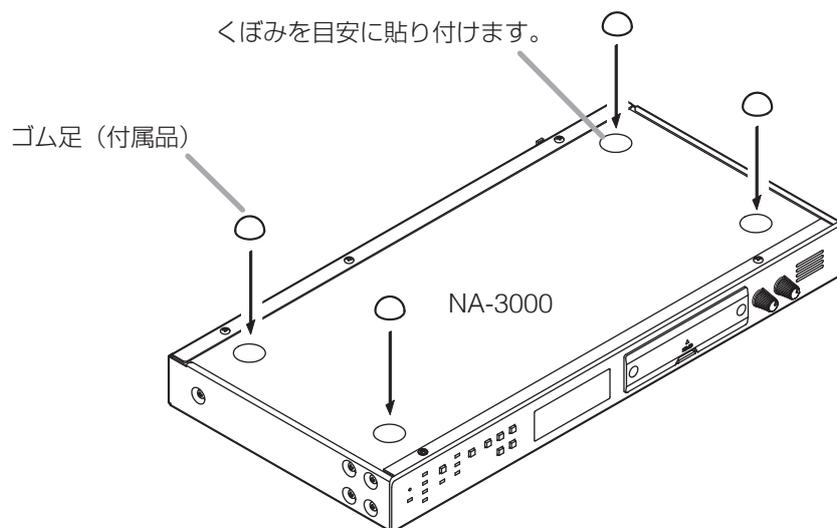
■ ラックマウントのしかた

ラックに取り付けるときは、別売のラックマウント金具 MB-15B を使用します。



■ 卓上設置のしかた

卓上に置いて使用するときには、付属のゴム足を本機の底面に貼り付けてください。



サンプル音源の再生

付属のメモリーカードには、BGMのサンプル音源が10曲収録されています。
本機のダイレクト再生機能を使って、これらの音源を再生・停止することができます。

【音源リスト】

ダイレクト再生登録番号	再生リスト名	再生順	曲名	演奏時間
99	サンプル音源	1	Feel on the floor	2分 17 秒
		2	Splash	3分 21 秒
		3	Rainy afternoon	4分 54 秒
		4	County dance	3分 9 秒
		5	Cheese & wine	2分 34 秒
		6	Old castle	2分 40 秒
		7	Mountain air	3分 29 秒
		8	Dear friend	2分 44 秒
		9	Snowscape	4分 50 秒
		10	No regrets	3分 17 秒

【サンプル音源の再生・停止のしかた】

ダイレクト再生の操作（ P. 23）で、「登録番号 99：サンプル音源」を指定してください。
再生開始操作から停止操作まで、リピートで再生し続けます。
サンプル音源内の曲を個別に指定して再生することはできません。

【ご注意】

- サンプル音源を NA-3000 以外の製品で使用しないでください。NA-3000 でのみ使用できます。
- サンプル音源を権利者に無断で複製または転用しないでください。

エラーコード

エラーコード	エラー名称	エラー内容	対処のしかた	
E03	CF 異常	運用メモリーカードの空き容量が不足しています。	メモリーカードの状況について、当社営業所または契約しているコンテンツパートナーへお問い合わせください。	
E29	時計異常	内部時計がリセットされています。	正確な時刻に修正してください。	
E30		内部時計に異常が発生しました。表示時刻がずれる可能性があります。	機器を再起動してください。再起動しても問題が解消されないときは、当社営業所または契約しているコンテンツパートナーへお問い合わせください。	
E40	通信異常	モデムからの応答がありません。	モデムとのケーブル接続、および電源を確認してください。	
E41		回線が混雑している、または他の電話機/FAXなどが回線を使用しているため、接続に失敗しました。	回線使用状況を確認してください。回線に問題がないようであれば、しばらくしてから再度通信を確認してください。	
E42		通信タイムアウトなどにより通信が確立しませんでした。	通信設定について、コンテンツパートナーへお問い合わせください。	
E43		ダイヤルアップの認証に失敗しました。		
E44		IPアドレスの取得に失敗しました。	IPアドレスとネットワーク回線の状況を確認してください。	
E48		通信タイムアウトなどによりFTPサーバーとの通信が確立しませんでした。	通信設定について、コンテンツパートナーへお問い合わせください。	
E49		アカウント、パスワードが間違っているため、FTPサーバーにログインできませんでした。		
E55		通信タイムアウトなどによりNTPサーバーとの通信が確立しませんでした。		
E58		通信タイムアウトなどによりPOPサーバーとの通信が確立しませんでした。		
E59		アカウント、パスワードが間違っているため、POPサーバーにログインできませんでした。	通信表示灯の点滅中は、電源操作を行わないでください。時間をおいて再度通信を開始してください。	
E63		通信タイムアウトなどによりSMTPサーバーとの通信が確立しませんでした。		
E67		電源操作により通信が中断されました。		
E68		データセンターがメンテナンス中のため通信ができませんでした。		時間をおいて再度通信を開始してください。
E70		通信タイムアウトなどにより、音声配信サービスのサーバーとの通信が確立しませんでした。		通信設定について、コンテンツパートナーへお問い合わせください。
E71	音声配信サービスのサーバーとの通信時にエラーが応答され、通信に失敗しました。			
E72	アカウント、パスワードが間違っているため、音声配信サービスのサーバーにログインできませんでした。			

故障かな？と思ったら

症状	調べるところ	対処のしかた
電源が入らない。	ACアダプターと電源コードは差し込まれていますか？本体側とコンセント側と両方を確認してください。	電源コードを確実に接続してください。
	コンセントに電気がきていますか？	電気がきているコンセントを使用してください。
スピーカーから音が出ない。	音声ケーブルが抜けていませんか？	音声ケーブルを正しく接続してください。
	接続しているアンプの操作を間違えていませんか？	接続しているアンプを正しく操作してください。
	音量調節つまみが最小になっていませんか？	音量調節つまみで音量を調節してください。
雑音が入る。	音声ケーブルが抜けかかっていますか？	音声ケーブルを正しく接続してください。
音が歪む。	テレビや無線機などからノイズが出ていませんか？	ノイズの発生源から離してください。
外部の曲と混ざってしまう。	ミックスレベルの設定が間違っていますか？	メニュー画面の音量設定でミックスレベルを調節してください。
サーバーリクエストができない。	ネットワーク機器は正常に動作していますか？	各ネットワーク機器を確認してください。ネットワーク管理者に確認してください。
	LINK/ACT 表示灯が点灯していますか？	LAN ケーブルを正しく接続してください。
	特殊なネットワーク、電話回線に接続していませんか？	インターネットに接続可能なネットワークに接続してください。
	電話回線を使用している場合、外付けモデムとの接続ケーブルが抜けかかっていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	電話回線を使用している場合、電話線が正常に接続されていますか？	電話線を正しく接続してください。
	電話回線を使用している場合、信号の種類を間違えて設定していませんか？	正しい設定にしてください。詳細はコンテンツパートナーへお問い合わせください。
指定した時刻に放送されない。	正しい時刻になっていますか？	正しい時刻に合わせてください。
	放送しているスケジュールは合っていますか？表示部でスケジュール名を確認してください。	スケジュールの内容をご確認いただくか、契約しているコンテンツパートナーにお問い合わせください。
表示時刻がずれている。	調時（有極）入力端子を使用している場合、プラスとマイナスは正しく接続されていますか？	調時（有極）入力端子のプラスとマイナスを正しく接続してください。
	インターネットに接続する設定の場合、長期間データセンターと通信をしていないと、時刻がずれることがあります。	前面パネルの通信キーを押してください。それでも正しい時刻にならない場合は、手動で時刻を設定してください。(P. 27)
エラー表示灯が点灯している。	機器の内部時計に異常が発生しています。「エラー確認のしかた」(P. 31)を参照してエラー内容を確認してください。	「エラーコード」(P. 41)で対処のしかたを確認してください。
エラー表示灯が点滅している。	機器内部で異常が発生しています。「エラー確認のしかた」(P. 31)を参照してエラー内容を確認してください。	「エラーコード」(P. 41)で対処のしかたを確認してください。

仕 様

電 源	外部電源 DC24 V (21.6 ~ 26.4 V)、400 mA、着脱式ターミナルプラグ (2P) または AC アダプター AD-246 (別売) から供給
消 費 電 力	10 W
周 波 数 特 性	50 Hz ~ 18 kHz、-4 ~ +2 dB (1 kHz 基準)
S N 比	73 dB 以上 (JIS-A)
歪 率	0.5%以下
セパレーション	70 dB 以上 (1 kHz BPF)
出 力 回 路	ライン出力 (L, R) : 0 dB*1、600 Ω、不平衡、RCA ピンジャック
入 力 回 路	外部入力 (L, R) : 0 dB*1、10 kΩ、不平衡、RCA ピンジャック 入力検知 : -30 dB*1 以上
制 御 入 力	フェーダー入力、機器ミュート入力、調時 (接点) 入力、制御入力 1 ~ 4 無電圧メイク (開放電圧 : DC30 V 以下、短絡電流 : 10 mA 以下) 調時 (有極) 入力 24 V、30 秒有極信号 着脱式ターミナルブロック (8P)
制 御 出 力	外部起動出力 1 ~ 3、ビジー出力、異常出力、制御出力 1 ~ 4 リレー接点 (耐電圧 : DC30 V、制御電流 : 0.5 A 以下) 着脱式ターミナルブロック (10P)
記 憶 メ デ ィ ア	付属品または NA-CF32G (容量約 32GB) のみ (CompactFlash™ 仕様準拠メモリーカード)
メ モ リ ー カ ー ド 実 装 可 能 枚 数	1 枚 運用メモリーカード 1 枚 (32 GB) : 付属品または NA-CF32G (別売)
モ デ ム 接 続 I/F*2	シリアルインターフェース (RS-232)、D-Sub 9 ピン (インチねじ、オス)
ネ ッ ト ワ ー ク I/F	100BASE-TX、AutoMDI/MDI-X、RJ45 コネクター
時 計 精 度	月差 ± 30 秒以内 (20°C)
時 刻 調 整	NTP サーバーによる調時機能、手動調時機能、接点・有極信号入力による調時機能
操 作 表 示	LCD 表示 (日本語表示)
使 用 温 度 範 囲	0 ~ 40°C
使 用 湿 度 範 囲	20 ~ 80%RH (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	パネル : アルミ、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶、塗装 ケース : プレコート鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶
寸 法	420 (幅) × 44 (高さ) × 231 (奥行) mm
質 量	2.4 kg

*1 0 dB = 1 V

*2 Ver. 3 以降のファームウェアでは使用しません。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ CompactFlash™ (コンパクトフラッシュ) はサンディスク社の商標です。

● 付属品

メモリーカード (32 GB、サンプル音源内蔵)	1	着脱式ターミナルプラグ (8P)	2
着脱式ターミナルプラグ (2P)	1	ゴム足	4
着脱式ターミナルプラグ (10P)	2	小ねじ 3 × 12	2

● 別売品

メモリーカード	: NA-CF32G
AC アダプター	: AD-246
ラックマウント金具	: MB-15B

アフターサービスについて

● 保証書について

保証書は販売店からお渡しします。必ず「販売店・購入日」など記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

無償修理の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。（一部消耗品を除く）

● 修理を依頼される時

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。

※ 保証期間中の修理は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店で無償での修理をお受けいたします。

ご連絡していただきたいことは、お客様のご住所・お名前・電話番号、製品名・品番・購入日、故障または異常の状況（症状）

※ 保証期間が過ぎている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により有料で修理します。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

TOA お客様相談センター

商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル（固定電話専用）

0120-108-117

ナビダイヤル 0570-064-475（有料）
FAX 0570-017-108（有料）

※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>